

実施日	年 月 日 ( )
実施者	

## 店舗管理者用万引き防止セルフチェック表

### 【万引されない店作り】

#### 1 従業員の教育・指導

- 「いらっしゃいませ」等のお声かけについて指導したか
- 不審者に隙をみせないための指導をしたか
- 店内放送について指導したか
- 従業員同士、警備員との連携について確認したか
- 商品、商品棚、売場等の点検方法は指導したか
- 店内の整理整頓について指導したか
- 防犯設備の教育はしたか、また、設備は来店者にも分かるよう配置されているか
- 不審行動を発見した際の連絡・連携等の訓練は実施したか
- 前兆不審行動の見分け方については教育したか
- 万引発生時の対応について訓練したか
- 混雑時にレジ精算をお待たせしないような対応がされているか

#### 2 防犯環境の確認

- 万引き防止タグの取り付け等、商品管理システム(EAS)の設置はあるか
- 従業員・警備員の配置はいいか、また、配置人数は十分か
- 死角をなくすため、店内外と倉庫の防犯カメラ、防犯ミラーの活用は有効か
- 警備員の巡回、防犯カメラの作動等、店内表示の仕方は有効か
- マイバックを使った万引きが起きないように対策がなされているか
- 試着室はレジの近くに設置されているか
- 試着室のカーテン下を短くするなど工夫をしているか
- 店内放送は実施しているか（警備員が店内を巡回している旨のアナウンス等）
- 高額品の対策は万全か（自鳴式タグの導入、施錠のあるケースに入っている）
- 万引き多発品はレジの近くに設置しているか
- 従業員等からの視野は確保されているか
  - レジから見て、棚と棚の間の通路が見通せる
  - 棚の高さが概ね 1.2～1.4メートル以下で、客の動きが把握できる
- 店内の整理整頓はどうか
- 監視強化エリアの設定はできているか
- 警備会社との契約内容は「未然防止」であるか
- 従業員・関係者の帰宅時に持ち物チェックを実施している

#### 3 通報・地域連絡体制の確立

- 警察への通報体制は確立されているか
- 地域の万引防止協議会の活動に参加し、情報を得ているか
- 公立学校の職場体験やセーフティ教室の講師依頼に協力しているか
- 近隣の同業店と防犯情報を共有しているか

備考：

～情報共有の目的は、継続です～